

石川労働局発表
平成30年8月21日(火)

【照会先】

石川労働局職業安定部職業安定課
課長 越野 桂一
課長補佐 木津 淳也
電話 076-265-4427 (内線 2913)

報道関係者 各位

平成29年度ハローワークのマッチング機能に関する
業務の総合評価結果について

全国の公共職業安定所（ハローワーク）では、マッチング機能の強化を図るため、平成27年度からPDCAサイクルによる目標管理・業務改善の取り組みを行うとともに、マッチング機能に関する総合評価を実施し、その結果を公表しています。（別添1を参照）

平成29年度の石川県内各ハローワークの総合評価結果は以下のとおりとなりました。

【総合評価結果】

類型	評価結果	公共職業安定所名
1	「非常に良好な成果」	なし
2	「良好な成果」	輪島所
3	「標準的な成果」	金沢所、小松所、白山所、 七尾所、加賀所
4	「成果向上のための計画的な取組が必要」	なし

なお、各ハローワークが平成29年度に重点的に取り組んだ事項やサービス改善・業務改善を図った事項など取組の詳細は、別添2のとおりです。

また、当該報告は石川労働局ホームページにも掲載いたします。

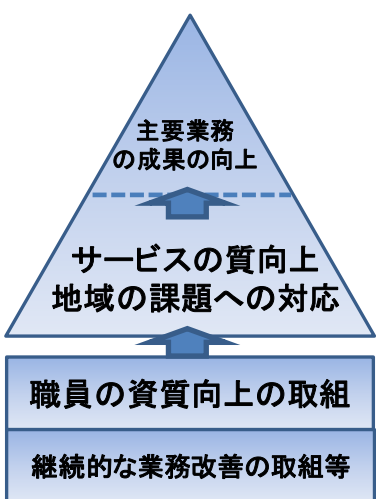
石川労働局及び各ハローワークでは、この結果の十分な検証のもと、平成30年5月25日(金)に発表しました平成30年度における目標の達成に向けて取り組んでいくほか、中長期的な業務の質の向上や継続的な業務改善を図ってまいります。

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組（概要）

ハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善を、平成27年度から一体的に実施。

PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- PDCAサイクルによる目標管理を拡充し、業務の質の指標を追加。
- 地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する指標を追加。
- 中長期的な就職支援の強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進。



短期的な成果の向上だけでなく
中長期的な業務の質向上・業務改善を図り
就職支援を強化

ハローワークのマッチング機能 の総合評価・利用者への公表

- 業務の成果や目標達成状況等を定期的に公表
→主要指標の実績を毎月、年度後半の取組強化のための分析を年度中に、総合評価を年度終了後に公表
- 業務の成果や質、職員の資質向上・業務改善の取組等の実施状況をもとにハローワークの総合評価を実施。
→労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークをグループに分け、その中で比較し評価
- ハローワークごとに実績・総合評価及び業務改善の取組等をまとめ、労働局が公表。



重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表

評価結果等に基づく 全国的な業務改善

- 評価結果等をもとに厚生労働本省・労働局による重点指導や好事例の全国展開等を実施。
- ① 評価結果等をもとに労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
 - ② 改善計画を作成、厚生労働本省・労働局が重点指導（評価期間終了後）
 - ③ 好事例は全国展開（評価期間終了後）
労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催

総合評価の構成

ハローワークのマッチング機能の総合評価は、全国ハローワークで共通する指標による評価と、ハローワークごとに地域の特性等を踏まえ重点的に取り組む業務や継続的な業務改善等に関する評価を総合的に勘案して実施。

総合評価を実施

※所重点指標は、ハローワークごとに、評価対象とする業務・取組を選択(一部、全所必須項目も有)

全国ハローワークで共通する評価 (全所必須指標)

(1) 主要指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち特に中核業務の成果を測定する指標に基づく評価

- 就職件数
- 求人充足件数
- 雇用保険受給者の早期再就職件数

(2) 補助指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務の質を測定する指標に基づく評価

- 満足度調査
- 求人に対する紹介率
- 求職者に対する紹介率

ハローワークごとの重点的な取組の評価 (所重点指標・所重点項目)

(1) 所重点指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する重要業務のうち、地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークごとに重点として取り組む業務に関する指標に基づく評価

- 正社員求人数・就職件数
- ハローワーク紹介の正社員雇用フリーター等件数
- 障害者の就職件数など

(2) 所重点項目に対する評価

中長期的なマッチング機能向上のための、職員の資質向上の取組や効果的な業務改善の取組等の実施状況の評価

- 職員による求人充足のための効果的な取組みを伴う事業所訪問の実施
- 求職者担当者制・求人担当者制の実施
- 職員による計画的なキャリアコンサルティング研修の受講
- 効果的な業務改善事例の考案と実施 など

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、就職件数や充足件数等の目標達成に向け、雇用保険受給者の早期再就職支援を最重点に、特に雇用保険給付課と職業相談部門の連携を強化し、受給資格決定時、初回講習時にパンフレットを活用した再就職手当等による早期再就職のメリットの説明及び職業相談窓口への積極的な誘導に努めました。

また、新規求職申込時のアンケートや給付制限中の方を対象とした「職業相談カード」の配置によって一人ひとりのニーズ・課題を把握するとともに、ニーズ等に応じて早期就職支援コーナーへの誘導のほか、面接実践セミナー及び職業適性検査等、必要な支援メニューの活用を勧奨することにより雇用保険受給者の早期再就職支援に取り組みました。

この結果、「雇用保険受給者の早期再就職件数」は目標を下回りましたが、「雇用保険受給者の早期再就職率」は前年度を超える結果となりました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

職員・相談員の資質や専門性の向上を図る観点から、各コーナー（わかもの支援コーナー、生涯現役支援窓口、福祉人材コーナー）毎に3週間に1回幹部職員が参加し、PDCAサイクルや担当業務に関する業務検討会を開催しました。

また、求人受理や職業相談において労働関係法の知識が必要なことから、労働基準行政及び雇用環境・均等行政職員による研修を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人検索パソコンの画面に、子育て中の方が検索しやすいように、急な休みに対応可能な求人や子供の長期休暇に休みを取得できる仕事と子育て両立サポート求人」ボタンを設定しました。

また、求人検索パソコン利用の待ち時間を解消するため、「利用受付」をセルフ式にすることで、利用者がスムーズに利用でき、自分の好きな場所でゆっくり検索できるなど利便性に配慮しました。そのほか、キーボードが利用できる機器の配置や利用方法などの案内も

わかりやすくし利用者の増加を図りました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

平成29年度はマッチング関係業務の補助指標である「求人者満足度、求職者満足度」において、目標を達成できませんでした。求人者、求職者に対してのサービスの向上を図る必要があると思われます。また、求人者満足度については求人に対する充足が伸びなかったことも要因の1つであると思われます。

各担当窓口のみならず、平成30年度から設置された福祉人材コーナーに、建設、警備及び運輸の人材不足分野を加えた「人材確保対策コーナー」において、的確なマッチングを図ります。

また、「案内表示」「見やすい展示」の項目においてもご意見をいただいたことから、正面玄関にフロアガイドを配置します。新規求職者が減少傾向にあるため、ハローワークのサービスメニューや利用の流れ等も掲載し、ハローワークの登録を勧める内容とします。

さらに、各窓口のパンフレットやサービスメニューガイド等をフロアガイド周辺に集中配置し、初めて来所される方のみならず、全ての利用者に分かり易いハローワークを目指します。

(4) その他業務運営についての分析等

有効求人倍率は高い水準で推移し、管内の企業において人手不足感が広がっています。このため、求人者へは正社員求人への転換、高齢者向け作業の切り出し等、求職者が希望する求人条件の緩和の提案に取り組んだほか、職業相談窓口では職業相談窓口活性化等の取組の実施、職種転換が必要と思われる求職者に対する職業訓練説明会・施設見学会への誘導、「ハローワークウイークリー」等各種求人情報誌の発行により、就職支援に取り組ましました。平成30年度も人手不足の状況が続くことが予想されるため、「人材確保対策コーナー」において、求人内容等詳細な情報収集や求人条件緩和指導等の助言により、的確なマッチングに取り組んでいきます。

また、金沢市と締結した雇用対策協定に基づき、若者、女性、高齢者等の就職支援、人材確保の支援・総合的な雇用対策に取り組んでいきます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給 者早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対 する紹介 率	求職者 に対する 紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の 就職件数	学卒ジョブ サポーター の支援に よる正社員 就職件数	公的職業 訓練の修 了3か月 後の就職 件数	マザーズハロ ーワークの重 点支援対象者 の就職率	正社員求人 数	正社員就職 件数
実績	7,347	8,479	2,365	70.3%	89.3%	18.9%	19.3%	157	584	1,251	679	91.2%	28,198	3,861
目標	7,704	9,048	2,430	90.0%	90.0%	21.3%	20.2%	130	602	1,171	595	89.4%	27,523	3,956
目標達成率	95%	94%	97%			89%	96%	121%	97%	107%	114%	102%	102%	98%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク小松 就職支援業務報告（平成29年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、所重点項目において、就職件数を向上させるため、とりわけ「正社員求人の確保と正社員就職の促進」を重点的に進めることとしました。

事業所訪問や求人受理、求人更新等の機会を捉え、正社員求人の提出や転換を働きかけるとともに、企業説明会や面接会を実施した結果、正社員求人数は7,430人と目標に達しましたが、同就職件数は1,324件と目標には及びませんでした。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

職員による事業所訪問を1人最低年度内に1回以上を目標に計画的に実施することとし、合計126件、職員全員が実施しました。事業所との信頼関係構築、現場を見ることにより求人票だけではわからない職場の様子、作業内容などを求職者がよりイメージしやすいよう説明できるなどの効果がありました。

キャリアコンサルタント資格取得に向け、指定の研修の受講に2名を送り出しました。職務経験が少ない若手職員2名に対し、職業紹介部門、求人・雇用援助部門にて所内研修を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、求人者からハローワークの支援メニューを十分に認知していないとの意見が多かったため、求人者向けの支援メニューが分かるチラシを作成し、窓口配置するとともに丁寧な説明に努めるなどの業務改善を行いました。また、チラシは、デザインの異なるものを2通り作成し、定期的に交換し同一のものが繰り返し求人者に配布され関心の薄まることの無いよう工夫しました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

平成29年度において、就職件数、充足件数及び正社員就職件数が伸び悩み、その理由の1つとして新規求職者数の減少があると考えています。そのため、求人情報誌の見直しや企業説明会の実施等により、ハローワークの支援メニューやイベント及び企業情報を積極的に発

信し、新規求職者に来所していただけるよう取り組みます。

また、所内の各担当窓口との連携を図り、求職者のニーズをしっかりと見極めたうえ、メリハリのある相談を行うことにより、待ち時間の短縮・解消に努め、来所者の窓口利用を促進し職業紹介に繋がります。

(4) その他業務運営についての分析等

正社員求人の確保については、求人者に対するハローワークの支援メニューの周知や正社員求人への転換の働きかけにより、一定の増加が見られたことから、取組を継続しつつ支援メニューの周知を一層徹底するとともに、魅力ある求人の確保に向け地方自治体との連携により「採用力向上セミナー」の実施などを通じ雇用管理改善を促し求人充足を図ります。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	障害者の就職件数	HWの紹介により正社員に結びついたフリーター等の件数	正社員求人 数	正社員就職 件数	
実績	2,553	2,427	766	89.5%	95.4%	18.1%	21.3%	165	323	7,430	1,324	
目標	2,900	2,500	829	90.0%	90.0%	20.6%	21.6%	161	300	6,638	1,391	
目標達成率	88%	97%	92%			88%	99%	102%	108%	112%	95%	

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク白山 就職支援業務報告（平成29年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、平成28年度において、県下のハローワークの中で前年と比べ新規求職者数の減少幅が最も大きかったことから、ハローワークを利用していない求職者に来所していただく等新規求職者の確保と求職者に情報を的確に伝える工夫に重点を置き、初めて来所した求職者へのスムーズな窓口誘導・求職登録勧奨、ハローワーク紹介ホームページの内容の充実、バリエーションに富んだ求人情報の作成・配布、求人票の展示方法の見直し等に取り組みました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、職員の職業相談技法のスキルアップと取組意識の改革の観点から、部門内ミーティングの場やOJTを通じ、求人条件相違等の苦情相談に関する事例検討の実施、マッチング機能に関する業務の目標値の達成への意識の醸成に向けた研修を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

ハローワーク利用者満足度調査結果では、求人者側、求職者側ともに、庁舎内の案内表示やチラシ・パンフレット類の陳列などについてのご意見が多かったことから、庁舎内の案内表示やチラシ・パンフレット類の陳列状況を利用者の目線で再点検し、表示位置や陳列場所・方法を見直すなどの改善を行いました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

マッチング機能の総合評価に係る主要指標の一つである「充足件数」については、目標値を達成し、一定の成果を上げたものの、補助指標である「求人に対する紹介率」では、目標値及び局平均値を下回ったことが、ハローワーク利用者満足度調査の求人者評価の低下の一因であると分析しており、今後は、ハローワークを利用することにより、様々な雇用情報の提供、各種事業所サービスが受けられること等を周知する「事業所サービスメニュー」チラシを作成・配布するとともに、求人充足会議の充実やマッチング精度の向上を図り、求人受理後のフォローを確実にを行うことにより、求人者側の満足度の向上を図っていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

平成29年度から実施した新規求職者に対する積極的な職業相談窓口の利用勧奨は、新規求職者数の増加に繋がるとともに、比較的就職意欲が高いとされる早期の段階で紹介に結び付けることができ、就職支援に一定の効果あったものと思料します。

今後とも、新規求職者に対する窓口の利用勧奨及び雇用保険受給者の認定日における全員相談等を継続して実施することにより、職業相談の機会を増加させ、精度の高い求人・求職のマッチングを積極的に実施し、就職の促進を図っていきます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	ハローワーク紹介の正社員 雇用フリーター 等件数	正社員求人 数	正社員就職 件数	パート求職 者の就職件 数
実績	2,625	2,402	805	81.1%	94.6%	17.9%	23.1%	491	8,262	1,325	1,047
目標	2,715	2,269	764	90.0%	90.0%	20.7%	23.4%	393	8,126	1,405	990
目標達成率	97%	106%	105%			86%	99%	125%	102%	94%	106%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク七尾 就職支援業務報告（平成29年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、就職件数の向上のため、雇用保険受給者の早期再就職促進を最重要と考え重点的に取り組みました。

具体的には、雇用保険の受給手続き以降の早い段階において、再就職支援セミナーの受講勧奨や再就職手当制度の周知徹底として、個別に再就職までのプランを示したリーフレットを活用して就職意欲の喚起を行ったほか、認定日の来所指定時間を調整することにより、ゆったりと職業相談を行い個別求人情報の提供等による相談・紹介機会の増加を図る取り組みを行いました。

また、給付制限中の方への来所相談を計画的に案内し、事前マッチングによる個別求人情報の提供を積極的に取り組んだことにより、雇用保険受給者の早期再就職件数目標を達成（達成率110%）する結果となりました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、職員・相談員の相談技能向上のためにキャリアコンサルタント有資格者を講師としたキャリアコンサルティング基礎研修を実施しました。また、職業相談等においては、労働基準法及び男女雇用機会均等法等の知識が必要になることから、労働基準行政、雇用環境・均等行政との共同研修を各1回実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、所内の案内表示やリーフレット類の配置状況についてのご意見を多くいただいたことから、案内ボードの表示や内容をシンプルに替えて、利用者の目につきやすい入り口正面に表示し、受付でも窓口利用のチラシの手交と誘導を行うこととしました。

また、プライバシーの配慮についても不十分とのご意見もありましたが、庁舎レイアウト等の変更が困難であることから、今後も声量に注意するとともに、職員間での各情報共有の際においても細心の注意を払うように徹底いたします。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

平成29年度は雇用保険受給者の再就職に向けて取り組んだ結果、目標達成となりました。一方、就職件数及び充足数は目標達成に至りませんでした。その理由として、求職者数の減少や紹介件数の減少があると分析します。そのため、重点対象とした求人のマッチングや、紹介の促進として実施している「今週の取組」対象求人へのマッチングを拡充強化するとともに、双方向での求職者担当者制への取り組みを拡充することにより、更なる就職件数、充足件数の増加を図ります。

(4) その他業務運営についての分析等

就職件数の向上には、良質な就業条件の正社員求人の確保が課題となっています。平成30年度においても事業所訪問や各種会議及び各自治体・商工団体等とのあらゆる接触する機会に、求職者のニーズ等、求人条件の現状を伝えながら雇用管理に係る改善への誘導や意見交換を実施していきます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	正社員求人 数	正社員就職 件数	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の就 職件数
実績	2,204	1,940	563	93.7%	91.6%	16.9%	22.2%	4,954	1,083	47	156
目標	2,265	2,005	514	90.0%	90.0%	17.9%	22.1%	5,066	1,055	42	152
目標達成率	97%	97%	110%			94%	100%	98%	103%	112%	103%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク加賀 就職支援業務報告（平成29年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

就職件数の目標達成に向けて、求職者担当者制による就職支援、求職者の緊要度の把握と必要な就職支援メニューへの誘導、個々の求職者のニーズに合わせたマッチング求人の選定などに取り組みました。求職者担当者制の就職率については、70.7%と目標の52.8%を大幅に上回りました。

このほか、企業説明会において、参加事業所から収集した事業所画像情報を活用し、当日、説明会参加者に画像で紹介する等工夫することで企業への理解をより深めてもらい、マッチングの向上に努めました。

また、若年者対策として、フリーター等の就職支援のため、学卒ジョブサポーターによる求職者担当制による就職支援や就職支援セミナーの参加勧奨などの取組を進めました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

若手職員に対し、スキルアップを図るため、職業相談業務にかかる研修を実施しました。

また、非常勤職員に対し、目標意識を持ってもらうため、PDCAサイクルにかかる研修等を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

雇用保険受給者の早期再就職については、これまで再就職意向調査票を初回講習会において配布、初回認定日に回収し内容の把握を行っていましたが、これを受給資格決定時に実施し、その場で求職者ニーズ及び緊要度を把握するとともに、必要に応じて、求人情報を提供するなど早い段階での支援を実施することとしました。

また、ハローワークサービス点検において、求職者からの免許・資格取得情報の提供について満足度が低かったため、パンフレットスタンド内に免許・資格取得コーナーを設けることとしました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求職者数の減少による紹介件数、紹介率の低下が顕著なことから、今後は以下の取組を重点的に進めることにより、紹介件数増に繋がっていきたいと考えています。

- ①画像情報の充実等、引き続き求職者の目線に立った求人情報を提供することによりマッチングの向上を図ります。
- ②管内の主要産業である宿泊業の求人充足対策について、企業ガイダンスに1社以上参加してもらい、求職者への参加勧奨を徹底しマッチングを図り、就職件数の増加に繋がります。
- ③求人充足会議において、対象となった求人に紹介可能と思われる具体的な求職者情報を持ち寄りマッチングを検討していきます。
- ④基本業務であるプラスワン紹介や認定日における全員相談時に求人情報を提供できるよう事前に準備すること等により紹介件数増に繋がります。

(4) その他業務運営についての分析等

当所の求職者数は対前年比で減少が続いていますが、有効求人倍率は概ね2倍台で推移しています。こうした状況下において、ハローワークを利用していない求職者に、来所していただくことは重要な取り組みとされていますが、まずはハローワーク利用者に対する支援を徹底することが大切であると考えています。

(3)に加え、引き続き雇用保険受給者の全員相談の実施、求人検索パソコン利用者の相談窓口への積極的な誘導、計画的な採否確認等、基本業務を徹底することにより、相談件数、紹介件数の増加を図っていくこととします。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	ハローワー ク紹介の正 規雇用フリ ーター等件 数	正社員求人 数	正社員就職 件数		
実績	1,270	1,145	338	94.4%	97.7%	17.0%	23.8%	146	4,191	620		
目標	1,438	1,335	307	90.0%	90.0%	19.9%	25.0%	200	3,926	680		
目標達成率	88%	86%	110%			85%	95%	73%	107%	91%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク輪島 就職支援業務報告（平成29年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、マッチング業務の主要指標である就職件数、充足件数を向上させるため、雇用保険受給者の早期再就職の支援に重点をおき、毎月開催している就職支援セミナーの受講勧奨、早期再就職プランの提供による再就職手当制度の周知、就職面接会・会社説明会・会社見学会の開催に取り組みました。

また、平成28年から実施している、1人の求職者に対し紹介担当職員全員で、その求職者にとって必要だと思われる支援メニューをお勧めし、多方面からのマッチングを行う「アルバムのマッチング」の新たな取組みとして、ハローワーク職員がどのような気持ちで「おすすめる」のか求職者にお知らせする「販促メモ」を実施することにより、更なるマッチングの強化を図りました。これらの取組みにより、平成29年度における就職件数は1,105件、充足件数は948件と、それぞれ目標を上回りました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

職員が管内の事業所を積極的に訪問の上、作業内容等を見学することにより求人票以上の情報を収集するとともに、職業相談窓口の職員が情報を共有することで、事業所の詳細な情報を提供できるようになりました。

また、訪問の際に収集した画像情報により事業所PRシートを作成し、求職者が閲覧できるようにファイリングするとともに、紹介窓口での相談に活用することで、より精度の高いマッチングに努めました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、求人者の回答の中で、「話しやすさ」と「制度の的確な説明」が全国平均を下回っていたため、求人者が気軽にハローワークを利用いただけるようにするとともに、求人者ニーズに応じた支援サービスを提供するため、以下の取組みを実施しました。

- ① 当所管内は広範なため、求人者サービスとしての事業所訪問を継続的に実施するとともに、助成金等の各種支援策に加えて求人充足サービス等についても説明しました。

② 雇用保険受給者を中心に積極的にマッチングを実施することにより、求人者サービスの向上を図りました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求職者数が減少傾向にある中で、どのように就職件数や充足件数を向上させるかが課題であることから、マッチングの取組の強化を図りたいと考えます。具体的には多面的な要素から対象者を支援する「アルバムのマッチング」については28年度から実施しており、一定の成果を得ていると考えますが、更なるマッチングの機会を増やし就職支援に努めます。

(4) その他業務運営についての分析等

当所管内における少子・高齢化及び若年層の転出超過が進んでいる状況を踏まえ、平成29年度においては、若年層が地元で定着できる正社員求人の確保及び若年者・高齢者の就職促進に取り組んでまいりましたが、平成30年度においても、「魅力ある職場づくり」の提案による良質な求人の確保に努めますとともに、就職支援セミナーへの受講勧奨、応募書類の作成アドバイス、就職面接会・会社説明会・会社見学会の開催等により、奥能登地域での就職支援に努めます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	ハローワーク紹介の 正規雇用フリーター 等件数	正社員求人 数	正社員就職 件数		
実績	1,105	948	231	94.2%	94.0%	14.3%	22.2%	104	2,224	444		
目標	1,093	933	232	90.0%	90.0%	15.4%	20.6%	55	2,348	425		
目標達成率	101%	102%	100%			93%	108%	189%	95%	104%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率